

# 1 英語の再履修

## 修得出来なかった科目をクラス授業以外の「英語選択科目」で代替する方法

(科目名は別紙「英語選択科目の登録番号」参照)

★2018年度(来年度)以降、不可となる予定です。注意してください。

※1年生は不可。  
指定されたクラス授業を履修すること。

必修クラス授業を修得出来なかった場合、その科目を「英語選択科目」で「代替」することができます。英語選択科目は定員制なので春学期第一回目の授業で選抜が行われます。

**STEP1** 第一回目の授業に出席し選抜を受け担当教員の受講許可を得る。

**STEP2** 履修登録の際、別紙「英語選択科目の登録番号」を見て、取得したい科目(修得出来なかった科目)用の登録番号で履修登録する。

① 秋学期だけ履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して、担当教員に秋学期だけ履修したい旨を伝え、選抜を受けてください。

② 春学期科目(Ⅰ)を英語選択科目で代替したい場合は、春学期科目(Ⅰ)を履修  
秋学期科目(Ⅱ)を英語選択科目で代替したい場合は、秋学期科目(Ⅱ)を履修

② 秋学期の科目(Ⅱ)を春学期の英語選択科目(Ⅰ)で代替するなど、「学期」が違う場合は代替することができません。

③ SSI所属学生は「入門英語(SSI)」も履修できます。曜日時限は掲示で確認してください。

## 外部英語能力試験のスコアによって修得出来なかった単位を取得する方法

詳細は、所属学部の「履修の手引き」参照

※1年生は不可。  
指定されたクラス授業を履修すること。

定められた期間に、TOEFL®、TOEIC®、IELTSを受験し、一定スコアを取得した場合、その結果を提出することにより英語必修単位の未修得単位が認定されます。

**STEP1** 履修登録期間内に、取得したい科目名の登録番号で「スコア認定」の履修登録をする

**STEP2** 外部試験を受験して証明書を取得する

**STEP3** スコア提出期間内にスコアを提出する

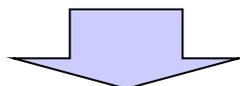
履修の手引きの「外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を取得する場合」の説明を必ず読んでください。

# 2 中国語の再履修(1)

## ■中国語1 I / II、中国語2 I / IIの再履修

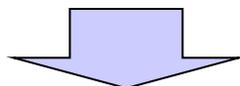
中国語1と中国語2はリレー形式で授業を行っているため、再履修の方法が複雑です。  
下の表で、自分がどのパターンに当てはまるかを確認し、該当するパターンの説明文に従って履修してください。

別紙「中国語1・2の再履修の方法について」のはじめの部分参照



↓たて方向に見て、自分がどのパターンなのか確認してください。↓  
「-」は単位修得済み(合格)、「再履」は単位未修得(不合格:再履修)

中国語1 I (春学期)	-	-	-	再履	-	再履	-	再履	-	再履	再履	再履	再履	-	再履
中国語1 II (秋学期)	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	-	再履	再履	-	再履	再履
中国語2 I (春学期)	-	再履	-	-	再履	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	再履	再履
中国語2 II (秋学期)	再履	-	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	-	再履	再履	再履	再履
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
再履修のパターン	A	B	A	B	C	C	C	C	D	E	F	G	F	G	H



別紙「中国語1・2の再履修の方法について」の下の部分の、各パターン別の履修方法の説明文を参照



再履修する場合は春学期第一回目の授業時に必ず担当教員の許可を得てください。  
春学期第一回目の授業に出席しないと担当教員の許可が得られない場合があります。

※受講希望者が多数の場合は希望通りの授業を履修できない場合があります。

※**秋学期科目だけ再履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。**

## ■中国語3 I / II、中国語4 I / II 重点、中国語5 I / II 重点の再履修

### 必修クラス授業

### 中国語3 I / II 中国語4 I / II 重点 で再履修する方法

※中国語5 I / II 重点は必修クラス授業はありません。「4群選択科目」で代替してください。

法学部・文学部・経営学部の基礎科目時間割表から、再履修したい科目の授業（修得出来なかった科目と同じ科目名の授業）を探して履修してください。  
修得出来なかった科目と同じ科目名の授業であれば学部やクラス指定は問いません。

①

春学期科目「～ I」を修得出来なかった場合は、春学期科目「～ I」を、  
秋学期科目「～ II」を修得出来なかった場合は秋学期科目「～ II」を再履修。

秋学期の科目を春学期に再履修するなど「学期」が違う場合は再履修できません。

②

再履修する場合は春学期第一回目の授業時に必ず担当教員の許可を得てください。  
春学期第一回目の授業に出席しないと担当教員の許可が得られない場合があります。

※受講希望者が多数の場合は希望通りの授業を履修できない場合があります。

③

**秋学期だけ再履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して教員の許可を得てください。**

同じ科目の春学期（I）と秋学期（II）の両方を再履修する場合は春学期と秋学期で同じクラスの授業を履修してください。

④

例：中国語3 Iを文学部2年C組の授業で再履修する場合は中国語3 IIも文学部2年C組の授業で再履修

必修クラス授業を修得出来なかった場合、その科目を「4群選択科目」で「代替」することができます。4群選択科目は定員制ですので春学期第一回目の授業で選抜が行われます。

STEP1 第一回目の授業に出席し選抜を受け担当教員の受講許可を得る

STEP2 履修登録の際、別紙「諸外国語選択科目の登録番号」および「補講科目登録番号」を見て、取得したい科目（修得出来なかった科目）用の登録番号で履修登録する

⑤

**秋学期だけ履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して担当教員に秋学期だけ履修したい旨を伝え、選抜を受けてください。**

春学期科目（I）を4群選択科目で代替したい場合は、春学期科目（I）を履修  
秋学期科目（II）を4群選択科目で代替したい場合は、秋学期科目（II）を履修

⑥

**秋学期の科目（II）を春学期の4群選択科目（I）で代替するなど、「学期」が違う場合は代替することができません。**

### 修得出来なかった科目をクラス授業以外の「4群選択科目」で代替する方法

（科目名は別紙「諸外国語選択科目および補講科目登録番号」参照）

# 朝鮮語の再履修(1)

## 必修クラス授業

朝鮮語1 I / II

朝鮮語2 I / II

朝鮮語3 I / II

朝鮮語3 I / II 重点

朝鮮語4 I / II 重点

朝鮮語5 I / II 重点

## で再履修する方法

法学部・文学部・経営学部の基礎科目時間割表から、再履修したい科目の授業(修得出来なかった科目と同じ科目名の授業)を探して履修してください。

★朝鮮語1 I / II、朝鮮語2 I / II

朝鮮語1と朝鮮語2が同じ学部の同じクラスになるように選んで履修

学部やクラスはどこでもいいが「朝鮮語1」と「朝鮮語2」が同じクラスになるように履修

※他の言語とはルールが違うので注意

★朝鮮語3 I / II

パターン①の人は「朝鮮語3 I / II」を履修(学部クラス指定はありません)

パターン②③の人は「朝鮮語3 I / II 重点」を履修(学部クラス指定はありません)

★朝鮮語4 I / II 重点、朝鮮語5 I / II 重点

再履修したい科目(修得出来なかった科目)の授業を探して履修(学部クラス指定なし)

①

春学期科目「～ I」を修得出来なかった場合は春学期科目「～ I」を、  
秋学期科目「～ II」を修得出来なかった場合は秋学期科目「～ II」を再履修。

秋学期の科目を春学期に再履修するなど「学期」が違う場合は再履修できません。

②

再履修する場合は春学期第一回目の授業時に必ず担当教員の許可を得てください。  
春学期第一回目の授業に出席しないと担当教員の許可が得られない場合があります。

※受講希望者が多数の場合は希望通りの授業を履修できない場合があります。

※秋学期科目だけ再履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。

③

同じ科目の春学期(I)と秋学期(II)の両方を再履修する場合は春学期と秋学期で同じクラスの授業を履修してください。

例: 朝鮮語2 Iを文学部1年C組の授業で再履修する場合は朝鮮語2 IIも文学部1年C組の授業で再履修

# 3-2 朝鮮語の再履修(2)

※  
朝鮮語3 I / II  
朝鮮語3 I / II 重点  
朝鮮語4 I / II 重点  
朝鮮語5 I / II 重点  
のみ

## 修得出来なかった科目をクラス授業以外の「4群選択科目」で代替する方法

(科目名は別紙「諸外国語選択科目および補講科目登録番号」参照)

必修クラス授業を修得出来なかった場合、その科目を「4群選択科目」で「代替」することができます。4群選択科目は定員制なので春学期第一回目の授業で選抜が行われます。

- STEP1 第一回目の授業に出席し選抜を受け担当教員の受講許可を得る
- STEP2 履修登録の際、別紙「諸外国語選択科目の登録番号」を見て、取得したい科目(修得出来なかった科目)用の登録番号で履修登録する

④ 秋学期だけ履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して担当教員に秋学期だけ履修したい旨を伝え、選抜を受けてください。

⑤ 春学期科目(I)を4群選択科目で代替したい場合は、春学期科目(I)を履修  
秋学期科目(II)を4群選択科目で代替したい場合は、秋学期科目(II)を履修

⑤ 秋学期の科目(II)を春学期の4群選択科目(I)で代替するなど、「学期」が違う場合は代替することができません。

⑥ 代替できるのは別紙「諸外国語選択科目の登録番号」に載っている科目だけです。科目によって必修科目に代替できないものがあります。4群選択科目のうち「朝鮮語講読 I / II」および「朝鮮語表現法 I / II」は選択科目としてのみ履修可能です。再履修の代替として履修することはできません。

⑦ 1年次科目(朝鮮語1 I / II、朝鮮語2 I / II)は「4群選択科目」で代替することはできません。

## 必修クラス授業

〇〇語1 I / II

〇〇語2 I / II

〇〇語3 I / II

〇〇語3 I / II 重点

〇〇語4 I / II 重点

〇〇語5 I / II 重点

## で再履修する方法

法学部・文学部・経営学部の基礎科目時間割表から、再履修したい科目の授業（修得出来なかった科目と同じ科目名の授業）を探して履修してください。  
修得出来なかった科目と同じ科目名の授業であれば**学部やクラス指定は問いません。**

①

春学期科目「～Ⅰ」を修得出来なかった場合は春学期科目「～Ⅰ」を、  
秋学期科目「～Ⅱ」を修得出来なかった場合は秋学期科目「～Ⅱ」を再履修。

**秋学期の科目を春学期に再履修するなど「学期」が違う場合は再履修できません。**

②

再履修する場合は春学期第一回目の授業時に必ず担当教員の許可を得てください。  
春学期第一回目の授業に出席しないと担当教員の許可が得られない場合があります。

※受講希望者が多数の場合は希望通りの授業を履修できない場合があります。

**※秋学期科目だけ再履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。**

③

同じ科目の春学期(Ⅰ)と秋学期(Ⅱ)の両方を再履修する場合は春学期と秋学期で同じクラスの授業を履修してください。

例:ドイツ語2 **I**を文学部1年C組の授業で再履修する場合はドイツ語2 **II**も文学部1年C組の授業で再履修

④

「〇〇語**1**」と「〇〇語**2**」の組み合わせは必ずしも同じクラスの授業でなくてもかまいません。

例:フランス語1 Iを法学部のクラスで受けて、フランス語2 Iは文学部のクラスで受けてもOK

⑤

**フランス語とロシア語**の「〇〇語3 I / II」について

パターン①の学生は「〇〇語3 I / II」と時間割表に表記された授業を探して履修してください。

パターン②③の学生は「〇〇語3 I / II **重点**」と表記された授業を履修してください。

※ドイツ語3・スペイン語3は全員「ドイツ語3 I / II」「スペイン語3 I / II」を履修してください。

※  
ドイツ語・フランス語・  
ロシア語・スペイン語  
履修者対象

修得出来なかった科目を再履修者用の「補講」で履修する

ドイツ語 補講1-I / II  
補講2-I / II

フランス語 補講1-I / II  
補講2-I / II

ロシア語 補講1-I / II  
補講2-I / II

スペイン語補講1・2 - I / II  
補講3-I / II ※

※スペイン語履修者のみ

「スペイン語3 I / II」を「補講」で履修することが可能です。

【ドイツ語・フランス語・ロシア語】

〇〇語補講1-I = 〇〇語1 I の単位が取得できます

〇〇語補講1-II = 〇〇語1 II の単位が取得できます

〇〇語補講2-I = 〇〇語2 I の単位が取得できます

〇〇語補講2-II = 〇〇語2 II の単位が取得できます

【スペイン語のみ】

スペイン語補講1・2 I = スペイン語1 I、**または** スペイン語2 I の単位が取得できます

スペイン語補講1・2 II = スペイン語1 II、**または** スペイン語2 II の単位が取得できます

スペイン語補講3-I = スペイン語3 I の単位が取得できます

スペイン語補講3-II = スペイン語3 II の単位が取得できます

STEP1 第一回目の授業に出席し抽選を受け担当教員の受講許可を得る

STEP2 履修登録の際、別紙「諸外国語補講登録番号」を見て、取得したい科目(修得出来なかった科目)用の登録番号で履修登録する

⑥

秋学期だけ履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して抽選を受けてください。

⑦

秋学期の科目(II)を春学期の補講(I)で代替するなど、「学期」が違う場合は代替することができません。

⑧

「〇〇語4 I / II 重点」「〇〇語5 I / II 重点」は補講で履修することはできません。

※  
ドイツ語・フランス語・  
スペイン語・日本語  
履修者対象

修得出来なかった科目をクラス授業以外の「4群選択科目」で代替する方法

(科目名は別紙「諸外国語選択科目および補講科目登録番号」参照)

必修クラス授業を修得出来なかった場合、その科目を「4群選択科目」で「代替」することができます。4群選択科目は定員制なので春学期第一回目の授業で選抜が行われます。

STEP1 第一回目の授業に出席し選抜を受け担当教員の受講許可を得る

STEP2 履修登録の際、別紙「諸外国語選択科目の登録番号」を見て、取得したい科目(修得出来なかった科目)用の登録番号で履修登録する

⑨ 秋学期だけ履修する場合も必ず春学期第一回目の授業に出席して担当教員に秋学期だけ履修したい旨を伝え、選抜を受けてください。

⑩ 春学期科目(Ⅰ)を4群選択科目で代替したい場合は、春学期科目(Ⅰ)を履修  
秋学期科目(Ⅱ)を4群選択科目で代替したい場合は、秋学期科目(Ⅱ)を履修

⑩ 秋学期の科目(Ⅱ)を春学期の4群選択科目(Ⅰ)で代替するなど、「学期」が違う場合は代替することができません。

⑪ 代替できるのは別紙「諸外国語選択科目の登録番号」に載っている科目だけです。科目によっては代替できる必修科目が限定されているものもあります。  
ほとんどの4群選択科目は2年次科目(〇〇語3~5)しか代替できません。  
SSI所属学生はドイツ語・フランス語のみ「スポーツ〇〇語」も履修できます。別途掲示で確認してください。

⑫ フランス語の4群選択科目のうち「フランス語視聴覚Ⅲ／Ⅳ」「時事フランス語Ⅰ／Ⅱ」「情報フランス語Ⅰ／Ⅱ」は履修年次が限定されているため、該当年次以外の学生は再履修の代替として履修することはできません。